

はばたき

神戸の動物園グラフ

65
2009
OCTOBER



K O B E
O J I Z O O

神戸市立王子動物園 第 65 号

はじめに 園長の一口メモ ～動物の寿命～

神戸市立王子動物園 園長

石川 理

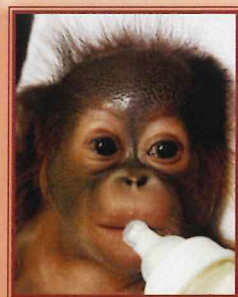
今年の春から夏にかけ話題となったオランウータンやカバなど新しい生命が誕生しました。

動物園では今回の特集にあるような繁殖のための色々な努力をしています。動物園で赤ちゃんが誕生するのはうれしいものですが、死亡する動物の数はそれを上回ります。その原因は病気やけが、高齢のためとさまざまですが、人間よりも動物の寿命は一般的に短く、動物園の職員は親しんだ動物たちが死亡する度に悲しい思いをします。

動物の寿命は大型の種ほど長いといわれています。これは体が大きいほど体重に比べ体表の面積が小さいので熱の発散が少なく、体温を維持するための代謝による発熱が少なくすみ、単位時間当たりの呼吸回数が少なく体の消耗が小さいからだと考えられています。また、多くの動物では生活環境によって寿命が左右され、同種の動物は寒冷地にすむものほど温暖地にすむものより成長が遅く寿命が長いともいわれています。

しかし、人間社会を観察するとどうもこれには当てはまらないようです。

当園での最長寿記録は平成20年に死亡したインドゾウの諏訪子で65歳でした。動物園では飼育技術が年々改善され高齢の動物が増えていますが、今後はこれらの動物に対する飼育方法や介護方法も考えていかなければならない時代になっていくと思います。



表紙動物

ボルネオオランウータン
(霊長目ショウジョウ科)
Pongo pygmaeus pygmaeus

東南アジアのボルネオ島に生息。類人猿ではゴリラに次いで大きい体を持つ。熱帯雨林の20～30mの樹上にすみ、果実や葉、樹皮を食べる。単独生活者。オランウータンはマレー語で「森の人」という意味。

目次 CONTENTS

表紙 オランウータンの赤ちゃん「ムム」

P 1 はじめに・目次
●園長の一口メモ

P 2 トピックス・イベント
●半期分のイベント

P 4 特集1
●オランウータンの誕生

P 7 特集2
●カバの誕生

P10 特集3
●フンボルトペンギンの繁殖

P12 新人飼育員の紹介
●森・外尾

P13 動物教室から
ZOO っとタイムズ No.31

P14 動物図鑑シリーズ
●シマウマ ●コモンスザル

P16 動物の話題
●ニューフェイス
●ベビー誕生
●別れ

P17 第21回アマチュア写真コンクール
●特別賞作品掲載

P19 特別展「ホネ・骨・ホネ！」

P21 サポートーズコーナー
●サポート企業紹介・個人支援者一覧・サポーター募集告知

P22 賛助広告

P22 裏表紙写真(カバの親子)
●バックナンバー紹介・編集後記

トピックス・イベント



夜桜通り抜け

(4月2・3・4日)



園内のソメイヨシノをライトアップし無料で見学する恒例のイベントを今年も実施しました。今年は「1人100円募金」を呼びかけたところ、悪天候にもかかわらず例年を上回る募金をいただきました。

動物園・水族園セット入園券の発売

(4月25日～)

王子動物園と須磨海浜水族園の特別セット入園券を発売しました。両園の通常入園料が合計1,900円のところを1,480円で販売中です。

ヒツジの毛刈り

(5月10日)



2頭のヒツジの毛を刈り、夏を迎える様子を来園者に見学してもらいました。

第22回大人のための動物園講座

～大人の飼育体験～

(6月28日)



昨年に引き続き、大人の方を対象に飼育体験をしていただきました。あいにくの天気でしたが、獣舎清掃やエサ作りなどを体験していただきました。

「たなばたを飾ろう」 ～動物たんざくに願いを込めて～

(7月4・5日)



かわいい動物たんざくに願いを書いて、笹に飾ってもらいました。2日間で合計1,103人と、たくさんの参加者の願いを天に届けました。

「京阪神動物園めぐり」スタンプラリー

(7月18日～8月30日)

京都市動物園・天王寺動物園との合同企画。夏休みに3園のスタンプを集めた方に、オリジナルグッズをプレゼントしました。

トピックス・イベント



第39回サマースクール (7月18・19・20・21・23・24日)



夏休み恒例の行事。小学生が獣舎の見学や清掃、エサ作りなどをしました。また草食動物のフンを使った紙すき体験もしました。

第4回ZOOキャンプ (8月1～2日、8～9日)



動物園に泊まり、普段は見られない夜の動物たちや早朝の園内の様子を飼育員と一緒に見学しました。

第23回「動物絵画教室」 (7月26・27日)



今年は「国際ゴリラ年」。小学生がゴリラを中心とした類人猿やサル類を観察しながら絵や粘土作品を作りました。

「行こう！神戸」キャンペーン (7月17日～8月16日)

神戸市内で新型インフルエンザの国内初感染が確認されたことの風評被害を払拭するために、市内主要観光施設のひとつとして、期間中の入園料を無料としました。

長寿動物へのプレゼント (9月21日)



推定59歳で国内最高齢のチンパンジー「ジョニー」と、推定39歳のミナミシロサイ「ナナコ」に飼育員特製ケーキをプレゼントし、長寿のお祝いをしました。

(森本市郎)

ホッキョクグマに氷をプレゼント (7月26日・8月2日)



2頭のホッキョクグマに大好物のアジやリンゴ・ソーセージなど入った大きな氷をプレゼントしました。

特集

オランウータンの誕生



現在では、各動物園で展示動物を補充する際に、野生で生活している個体を捕獲して展示するという方法は無くなり、動物園での繁殖個体を、必要とする動物園に貸し出したり、交換したりといった方法をとっています。しかし、どの動物も飼育下で容易に繁殖するかというと難しく、なかなか繁殖してくれない動物がほとんどです。特に、単独で生活している動物たちや神経質な動物たちは、飼育下での繁殖をさらに困難なものにしています。そういった繁殖が難しい動物のひとつにオランウータンがいます。オランウータンは本来、野生下では単独で生活し、繁殖の時だけ相性のあった雌雄が交尾をするというものです。

オランウータンにとって1年中雌雄で、または複数で飼育することは、よほど環境におおらかな個体か、もしくは相性が良い個体以外にとっては、ストレス以外のなにものでもないのです。野生下でない

以上、人為的にコントロールした繁殖が動物園としては安全であり、計画的といえます。この計画的な繁殖は、相手が野生動物ゆえに、なかなかコントロールしづらいのが現状で、その為、人工授精などの人為的な方法で、繁殖を目指すことが行われたりします。



当園でも、オランウータンの飼育自体は長いのですが、30数年前に1度繁殖したきりで、その子供も数日で死亡してしまい、繁殖から遠ざかっていました。1999年までの6年ほどは、現在飼育しているメスの「バレンタイン」もオスとの生活を送ったのですが、オスが他界し、2007年まで1頭での生活を余儀なくされていました。これはオランウータンの飼育個体数が少ないのと、なかなか繁殖に至らないことから、再度のオスの導入が難しかった為でした。繁殖方法のひとつとして、1頭での生活の間に、横浜の動物園からオスの精液をもらい、人工授

特集

オランウータンの誕生



精を2度試みたのですが成功せず、半ば二世誕生をあきらめかけていたところ、福岡市動植物園から施設の改修の間、オスを預かって欲しいと打診があり、預かることにしました。当園の「バレンタイン」は、以前のオスとは繁殖行動を取った事は無く、さらに人工哺育で育った為、オランウータンの世界のルールも理解していないのが不安材料でした。預かるオスも高齢だったので、繁殖を全く期待していなかったのですが、導入後22日目にバレンタインに変化が起きました。自分の発情に呼応して、オスに対してプレゼンティング（繁殖行動の呼び行動）が観察されました。これは、今まで長年飼育してきた「バレンタイン」に初めてのことでした。顕著なプレゼンティングに対して、オスの「ミミ」も、盛んに隣り合った獣舎の小窓から、「バレンタイン」にアプローチしたのでした。「バレンタイン」は、尿中のホルモンなどから、発情時期が特定できていましたし、今回のプレゼンティングを含む、繁殖行動にも正確性が高く、特定の発情時期に同居するといった、本来のオランウータンの繁殖行動を飼育下で模倣してみることにしました。「バレンタイン」の発情周期がほぼ一定であったことから、1番の適時を決め、当日から翌日と長くとも3日間、それも午前中のみとかで、「バレンタイン」が拒否するタ

イミングに分離するといったことを繰り返し、確実な交尾を観察しました。

その結果、日本の動物園でも大変珍しいとされる、交尾日が確実にわかった上での出産が観察されました。展示場での同居で交尾した2008年8月7日から238日目（平均では265日ですが、尿中のホルモンの推移から、若干早く出産したことが分かりました）の2009年4月2日の早朝、飼育員の見守る中出産しました。出産は、予想に反して5分程度で完了し、懸念していた出産後の、新生児への対応が出来ないといったこともなく、びっくりするほど丁寧に、そして慎重に赤ちゃんを抱きかかえていました。

ただ問題は、赤ちゃんに授乳させるということを学習できていない為、大切に抱いているのですが、お乳を吸わせることが出来ません。私が柵越しにお乳のところに赤ちゃんを移動させるのですが、その意味をバレンタインは理解できず、私が離れると、





またお乳から離れたところで抱いてしまいます。翌日にも数度、同様に赤ちゃんをお乳のところに移動させたのですが、今度は赤ちゃんに吸うだけの体力が無くなってきていたのと、もしやと思い、「バレンタイン」のお乳を搾ってみると、全く母乳が出ていないことがわかり、このままでは折角の赤ちゃんが死んでしまうということで、バレンタインから赤ちゃんを取り上げ、人工哺育することにしました。

他の動物の人工哺育と違うのは、サル類は母親が24時間離乳するまで抱き続けていると言う点で、それが1番厄介なことです。本来、サルたちは満腹になるまで1度にミルクを飲むことも、時間を決めて飲むこともしません。それは、常に母親に抱きついていて、絶えずお乳を少量づつ飲んでいくのです。ですから母親に抱かれている子ザルは、決して泣くことも無く、ストレスにつながることもないのですが、人が母親代わりをするとそうもいきません。特に飼育員は、複数の動物の世話を受け持っていますから、赤ちゃんにかかりつきりとは行かず、結局は赤ちゃんに我慢？をお願いすることになります。

人工哺育当初は2時間ごとのミルクも、成長に伴い、少しずつ時間の間隔を伸ばしていきます。また1回の授乳量が増加するので、1日の回数も少なくしていきます。言葉で書くと簡単なことですが、当初はミルクを作り、時間をかけて飲ませ、オムツを換えたりしていると、もう次のミルクを作る時間と言った具合で、夜間に休む暇も、仮眠する暇も無い状態でした。そうそう、人の赤ちゃんと同様に、人工哺育の場合はミルクを飲み終えた後、背中をたたいてゲップを出させてやるのも大切です。最近では、



深夜は熟睡させるので、深夜2時から明け方の4時位までは休めます。

6ヶ月を過ぎた頃から、自我が出だします。これは、なすがままから、好き嫌いや自分の欲することを要求したり拒否したりすることです。こうなってくると、新人の飼育員には大変なことです。ベテランでも四苦八苦するのに、新人ならなおさら赤ちゃんにとっては良い遊び道具で、ミルクを貰うという大切なことより先に、自分より下と幼いながら見てしまうのです。ですから、私には優しく甘えるような噛み方でも、新人飼育員には歯形が残るほど噛むことがあります。でも、これはある意味の経験です。特にサル類の場合、飼育員に順位付けをします。赤ちゃんサルにおいても同じで、たえず自分（赤ちゃんサル）が2番なのです。ですから、私がついて手取り足取りと赤ちゃんの世話を教えると、その段階で赤ちゃんサルにとっては、1番が私、2番が赤ちゃんサル、3番が新人飼育員となるのです。これは将来、赤ちゃんサルが成長した段階で重大な問題に成るので、見よう見まねと体験にて経験を積んでいくしかないのです。現在、順調に成長し、皆様にガラス越しではありますが、1日2回の観覧も可能で、そのかわいい姿や行動を見て頂くことが出来ます。それでも、新人飼育員の悪戦苦闘は続いています。1日も早い、オランウータンの親として認められるようがんばって欲しいものです。

(川上博司)



特集

カバの誕生



現在、王子動物園でカバの赤ちゃんを公開しています。約20年ぶりの事で母親「ナミコ」と飼育員の色々な苦労もありますので、その裏話をみなさんに知っていただこうと思います。

カバは上手に世話をすると50年くらい生きるので、この赤ちゃんは私たちより長生きするかもしれませんから、この「はばたき」が記念になればいいなあと思っています。

初めにこの赤ちゃんのお父さんは体の大きな「出目男」(27才)、お母さんは2002年まで王子動物園で45年間飼育されていた「茶目子」の孫にあたる「ナミコ」(17才)です。カバは長生きですし、飼育するのに施設もいるので、全国の動物園で繁殖を制限していましたが、当園では2006年から計画的に繁殖に取り組んでいました。計画的な繁殖とは、カバは通常、水中で分娩、授乳を行なうので、妊娠期間(約240日)を逆算し、水温の高い季節に出産させようと、11～12月の間に交尾させました。

「ナミコ」にとって初めての出産は2007年7月でした。無事に出産しましたが、冒頭にも書いた様に久しぶりの繁殖でしたし、以前にいたおとなしい「茶目子」の経験しかなかったので、哺育はそう難しくないとは油断しており、いつも通りの施設と飼育方法

でいこうと思っていました。しかし生まれて間もなく、お母さんから離れて柵をすり抜け、作業用通路を歩き溝に落ちて、「ナミコ」もひどく興奮して赤ちゃんを戻すときに噛み付くような状態で、生後3日で死亡してしまいました。

こんな事故が2度と起らない様に、次からは産室の柵の間に鉄板を張り、赤ちゃんが出られなくしました。その上「ナミコ」はとても神経質な為、飼育員があまり出入りせず観察出来る様にカメラやモニターも準備しました。そのほか、授乳が出来ないこ



出産直後のモニター画像



特集

カバの誕生



とを考え、仔ウシ用のミルクなど人工哺育の用意もしました。万全で次の繁殖に望みましたが、2度目は出産予定日より2ヶ月も早く出産してしまい、死亡していました。その時の赤ちゃんをさがす「ナミコ」がかわいそうで仕方ありませんでした。

そしてこの度の3度目の挑戦では飼育員も細心の注意を払い、騒音も出来るだけしない様にしました。2009年8月11日、早朝に無事出産をモニターで確認でき、「ナミコ」も赤ちゃんも落ち着いていました。私たち飼育員も胸がおどる気持ちで一杯でした。ところがモニターでは授乳しているか、はっきりと確認出来なかったなので、3日間24時間体制で、親子の様子を観察する事にしました。

最初は弱々しく、「大丈夫かなあ」と心配になりましたが、「ナミコ」は本当に赤ちゃんが可愛いみたいで、鼻先に置いて、いつも体が触れていないと落ち着かない様子でした。2日目の深夜には、「ナミコ」も少し疲れたのか、赤ちゃんに耳を噛まれて起される場面も見られて思わずモニター越しに笑っ

てしまった事もありました。3日目には赤ちゃんの元気な動きと、潜水している時間と回数から授乳していると判断し、やっと安心する事が出来ました。

「ナミコ」は飼育員には少し乱暴ですが、赤ちゃんにはとてもやさしくて、良いお母さんになってくれたと、いつも世話をしながら感激しています。

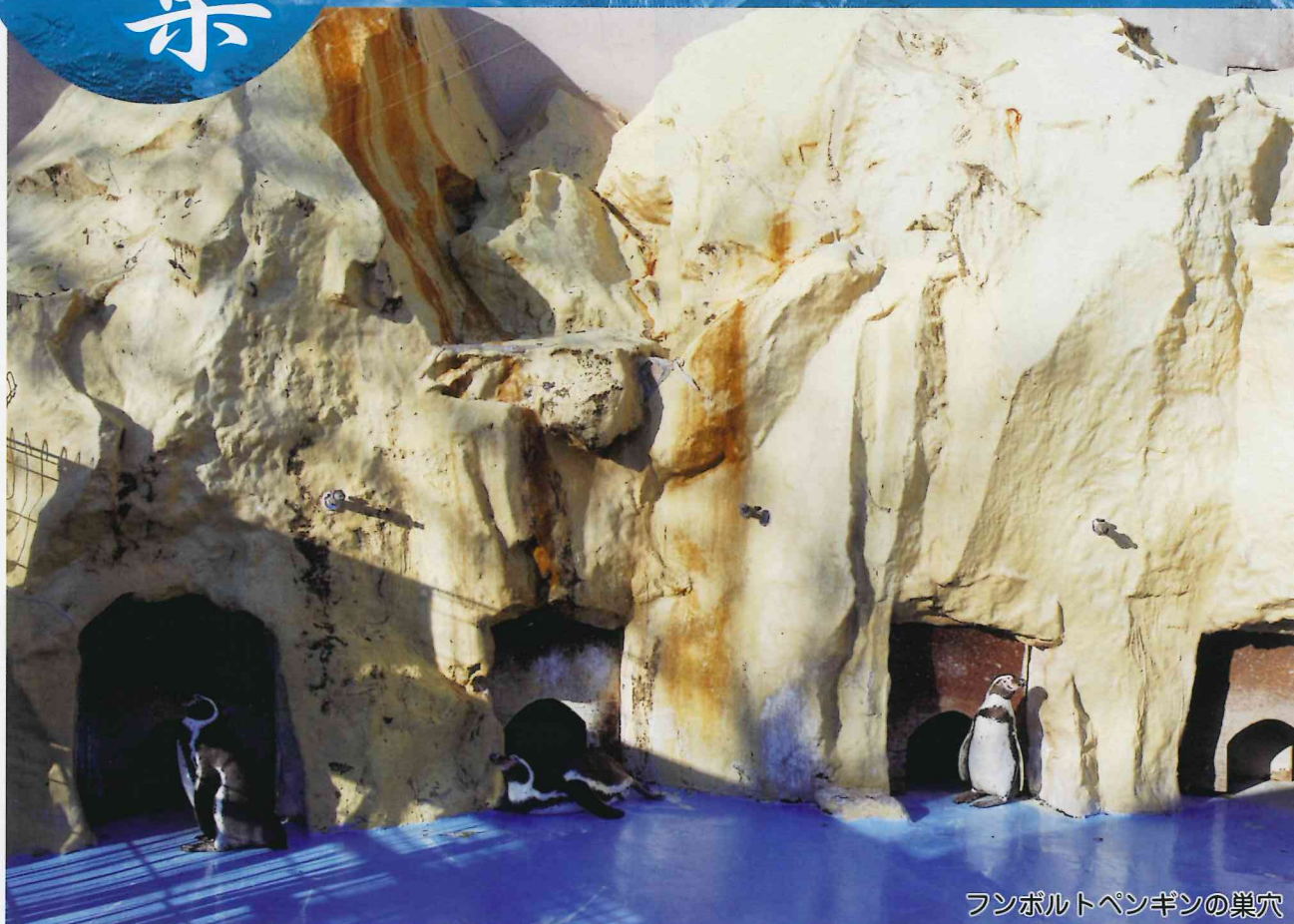
みなさんも、まだまだお母さんに甘えているミニチュアの「ナミコ」を見に来てあげてください。

(小川高志)



特集

フンボルトペンギンの繁殖



フンボルトペンギンの巣穴

現在、王子動物園では2羽のオウサマペンギンと22羽のフンボルトペンギンを飼育しています。今回はフンボルトペンギンについてお話します。飼育している22羽のうち、なんと19羽は王子動物園で産まれた個体です。しかし野生では数が減り、絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約（通称・ワシントン条約）の附属書Ⅰに指定され、取引は厳しく制限され、約12,000羽の野生のフンボルトペンギンが守られています。日本の動物園、水族館などで飼育されているフンボルトペンギンは約1,300羽。野生のペンギンの1割以上の数のペンギンが日本にいるわけです。

当園のペンギンの展示場の左側に、擬岩といって強化プラスチックで作った岩山があります。その下に小さな穴が空いていて、そこがペンギンの巣になっています。巣穴は全部で7つあり、決まったペアが入っています。この巣穴は繁殖の時だけではなく年中使っています。巣穴の入口は小さいですが、中は1m四方の広さでペンギンが立っていても頭は

あたらない高さがあります。不思議なことに入口から中が見える状態ではあまり入ろうとはせず、1度壁を作り外から見えないようにしないと落ち着かないようです。巣材には石や笹を使います。巣材は毎年3月頃に飼育員が入れますが、小石や落ち葉などを拾ってきては巣材にしています。強いペアは他の巣から巣材を盗ってくることもあります。

フンボルトペンギンは良く増えますが、同じペアからの子供が増えすぎたり、親子や子供どうしでのペアで卵を産むと健康に育たなかったり、繁殖できない個体になってしまいます。かわいそうですが産



擬卵

特集

フンボルトペンギンの繁殖



フンボルトペンギンのヒナ（右側）

んだ卵を取り上げます。卵を取り上げるとメスはまた卵を産むので擬卵を替わりに抱かせます。擬卵とは本物の卵に見せた偽の卵で、当園ではペンギンが産んだふ化させられない卵を取り上げ、中身を抜いて中にゴムのようなシーリング剤を入れます。この擬卵なら重さも温まりぐあいも本物に近いものになります。ペンギンはこの擬卵を本物の自分達の卵だと思い一生懸命温めます。この擬卵は卵の殻が割れてはがれてしまうことがあるので時々確認します。ペンギンは約40日くらいでふ化するので、40～50日くらい抱卵させてから擬卵を取り上げます。

ペンギンがかわいそうだという考えもありますが、巣を作らせないように巣穴をふさいだり、巣材を取り上げたり、増やせないペアの片方を他の動物園に移動させるなどの方法がありますが、巣を作らせ、卵を産ませることで産卵リズムのある生理的健康状態が保たれます。ペアを分けることも仲のいい

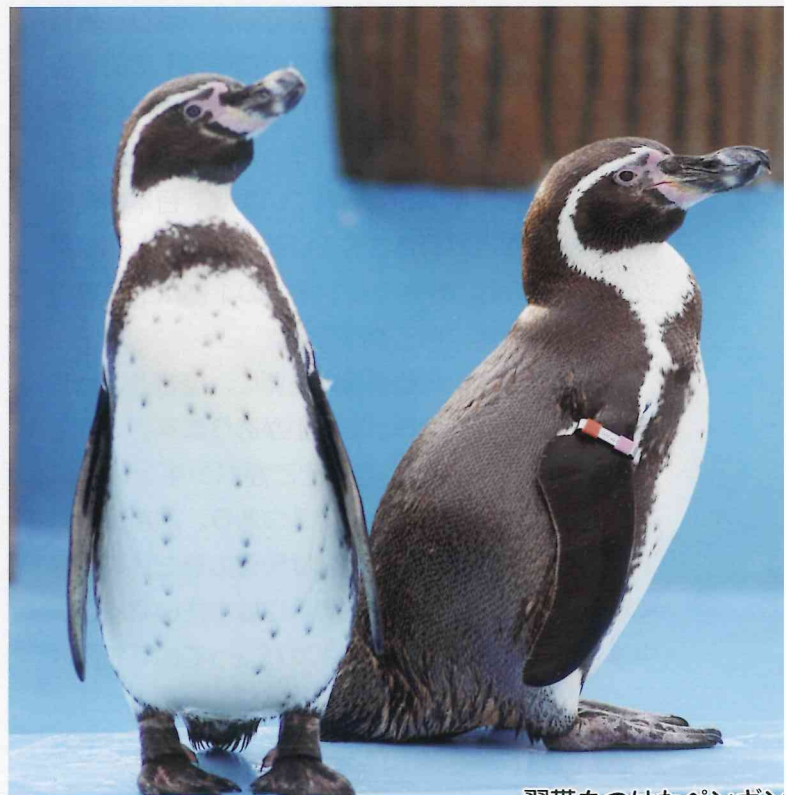
ペンギンにとってはストレスがたまり良くありません。

一方増やすことができるペアは4月頃にほぼ2つの卵を3日あけて産卵します。2卵ある場合は1卵を擬卵に替えます。卵は40日前後でふ化します。ふ化してもヒナは巣から出てこず、親が餌を運びます。45日くらいで巣から出てきてプールに入りますが、また餌は親に50日以上もらい続けます。親が餌のアジを食べたあと、しきりにピーピーと餌をねだっているのですぐにヒナだと分かります。体の模様も首の下に黒い線がないので見分けられると思います。でも次の年の換羽で親と同じ模様になってしまうので分からなくなります。

そこで翼帯といって翼の付け根に色々な色がついた金属のバンドがつけてあります。ペンギンの名札です。この翼帯を見れば生まれた日や両親が分かります。これを登録することで日本に飼育しているフンボルトペンギンの血統登録台帳ができます。

このようにただ増えるから増やすのではなく、血統や飼育できる数を調整しながら、お客さんにもかわいいヒナを見てもらいたいため1年に1羽だけで増やせるように努力しています。

（石川康司）



フンボルトペンギンのヒナ（右側）

新人飼育員の紹介



森 誠

4月から王子動物園の飼育員になりました「森 誠」です。子供の頃から動物好きだった僕は、憧れの職業の飼育員に念願かなってやっとなることができました。今までオリやガラスの外からしか見られなかった動物たちが、飼育員になった今ではコツメカワウソに手から餌をあげたりコアラを抱いたり、他の動物も息遣いさえ聞こえそうなくらい常にそばに居るのです。動物の種類ごとにいろいろな種類の餌があり、糞の形や量も違うことに驚きながら、新鮮で楽しい毎日を過ごしています。ベテランの先輩

方のように知識や経験がまったく無いのですが、動物たちの運動場や寝室などの掃除をしたり、毎日一生懸命頑張っています。例えば、動物たちが少しでも過ごしやすくストレスが溜まらないように、シタツングのプールやコツメカワウソのハンモックを飼育員の先輩方に手伝ってもらって作っていますので、是非見に来てください。勉強中ですが見かけたら気軽に声をかけてくださいね。担当はコアラ、コツメカワウソ、エゾリスです。見た目はベテランですが、くれぐれも新人ですのでお手柔らかに……

外 尾 美 絵

はじめまして。2009年4月23日より当園の飼育員になりました「外尾美絵」と申します。私は「大きくなったら動物園の飼育員になりたい」と、幼少の頃から夢を描いていました。夢を実現するため、神戸に出てきて十数年が経ち何度も諦めようかと悩んだり、挫けそうになったりもしましたが、この度、念願の飼育員という職業に就け毎日ドキドキしながら楽しく働かせて頂いています。初めてのことで、知らないことが沢山あり先輩方の足をひっぱってばかりいますが、これから沢山の知識と経験



を積み、動物たちのため、そして動物園を愛してくださるお客様のために、動物をもっと知って頂ける様な素敵な動物園の土台作りの一員として精一杯努力していきたいと思います。現在の担当動物は小ザルと、アビシニアコロブス、テナガザル、オランウータンです。賢いおサルさんばかりで、初めの頃は「どうしたら私を受け入れてくれるのだろう……」とあれこれ考えながら仕事をしていましたが、少しずつ私を覚えてくれることがわかったときはとても幸せでした。この気持ちをいつまでも忘れず笑顔で働きたいと思います。まだまだ、勉強不足で皆様の期待に応えられるか分かりませんが宜しくお願い致します。

神戸市立宮本小学校
で総合的な学習に取り組む
1. 本物とふれあ
王子動物園に
私の動物！を

よう」というテーマ
が大切だと考えます。

は、「ぼくの動物、
タッチしたりしてい

2. 興味・関心をもつ。

3. 触れる回数を多くもつ。

4. ものの見方・考え方を身につける。

5. 子どもたちを支援してくれる大人が近くにいる。

[illegible]

【こんなことが観察したい】

- ①コツメカワウソがどんな歯なのか。
- ②えさを食べているところを見たい。
- ③水かきがあるのかどうか確かめたい。

(山崎幸雄)

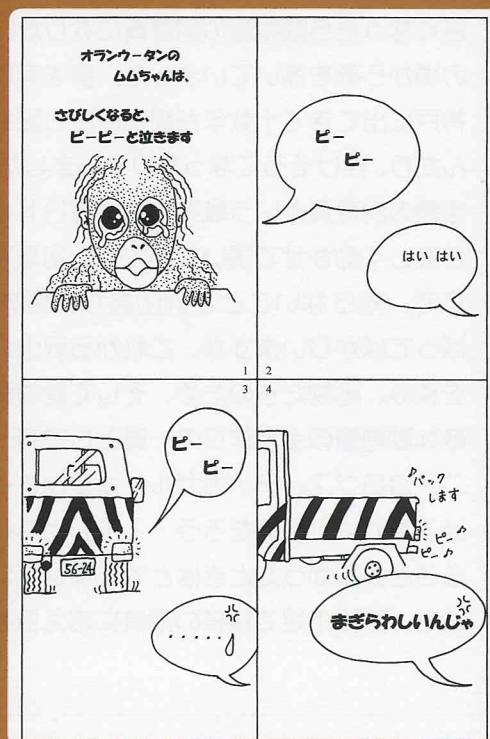


(かわかみひろし)



Zoo
と
タイムズ

No.31



動物図鑑シリーズ

No27

ヤマシマウマ
サバンナシマウマ
グレビーシマウマ

奇蹄目ウマ科
奇蹄目ウマ科
奇蹄目ウマ科

Equus zebra
Equus burchelli
Equus grevyi



—個体紹介—

「凧斗」(ナギト)

性別：オス

2005年5月9日生まれ

2009年4月22日みさき公園より来園

現在、花嫁募集中。

シマウマはウマ属に属し3種が知られ、すべてアフリカに生息している。

これら3種のシマウマはアフリカ中・南東部の青草の豊富な草原に分布するサバンナシマウマ(3亜種)と南西アフリカの山地草原にすむヤマシマウマ(2亜種)、そしてアフリカ東部の半砂漠・やぶのある乾燥草原にすむグレビーシマウマに分けられる。

この3種のシマウマは、尾の付け根から背にかけての、縞の模様で容易に判別することができる。

サバンナシマウマの亜種であるチャップマンシマウマは体にある縞と縞の間にうすい“かげ縞”があり、四肢ともに蹄までは縞がない。またサバンナシマウマの縞については、一般には南部のものが縞が多く、北へ行くにつれ縞の幅が広く、“かげ縞”が現れるといわれている。

体長2,2～2,5m、体高1,2～1,4m、体重はオスで220～325kg、メスは175～250kg、一般に1産1子で妊娠期間は345～390日。寿命は18年程度であるが飼育下では22年以上の記録もある。

《動物園での一口メモ》

当園では、今年3月に新シマウマ舎が完成し、チャップマンシマウマの飼育展示を始めました。これまでは、1954年にグレビーシマウマを導入し、1957年に日本初の繁殖に成功して以来、2005年、最後のペア「ニルス」(オス)と「ナナ」(メス)が亡くなるまでグレビーシマウマの飼育を続けてきました。

ですからチャップマンシマウマを飼育するのは初めてです。飼育方法はそれほど変わりありませんが、一番驚いた違いはグレビーシマウマではあまり聞かれなかった、「ヒュ ルウルウルウー」のような鳴き声を出すことです。これは今は1頭だけなので不安を感じたり、寂しいからでしょうか。早くお嫁さんをもらい、以前のように繁殖を目指していきたいです。

(坂本健輔)

コモンリスザル

霊長目オマキザル科

saimiri sciureus



している。また、鼻先から口にかけて黒っぽく、耳、顔、のどから胸にかけて白いのが特徴である。尾は先が黒く、長くて太いが、ものを巻いてつかむことや持つことはできない。休むときは、内側に曲げ肩にかつぐようにする。オスは4年で成熟し、メスは2年半で成熟する。妊娠期間は、150～170日で、通常1産1子である。赤ん坊は生まれてから数週間ほど、母親の背

コモンリスザルは南アメリカの熱帯雨林のほぼすべてに生息する昼光性のサルで、大きさが「リス」のように小さく体色も似通っていることから「リスザル」と呼ばれている。コモンリスザルを単に、「リスザル」と呼ぶこともある。原生林、二次林、川辺林、林縁部のいずれにも生息し、主に森林の中層を好むが、採食のために地上におりることもある。食性は雑食性で、木の実、果実、昆虫類を好んで食べ、その食物はじつに多様である。明確なリーダーのいない群れを作り、大きさは10～50頭、時に300頭になる大きな群れを作る。雌雄の比率はほぼ等しく、他のオマキザル全般と混合群を作り生活をしている。群れごとには、はっきりとした遊動域が決まっているが、なわばりのように防御したりするものではなく、となり同士の群れの遊動域とは大幅に重なり合っている。オマキザル科の中では小型で、体重700～1300g、頭胴長22～37cm、尾長36～47cmしかなく、オスの方がメスよりもやや大きい。体毛は短く密で、頭から背中にかけてと体側は灰緑色で暗い色調であるが、腹部と四肢はオレンジ色を

中にしがみついて、乳を飲むときだけ位置を変える。4週目頃には母親から離れ、あたりを動き回るようになる。母親以外のメスが赤ん坊を運ぶことはない。リスザルは、コモンリスザルのほかに、セアカリスザル、ボリビアリスザル、クロリスザルの4種がいる。

《動物園での一口メモ》

当園では、運動場に出すときにペレット（固形飼料）を与え、夕方にはリンゴ・バナナ・ミカン・ブドウ・キーウィ・トマト・きゅうり・なす・蒸しイモ・チンゲン菜・ソーセージ・ドックフード・ひまわりの種・パン・ペレットを与えています。野生下の食性を考慮して動物性たんぱく質の摂取量を他種のサル類より高くしています。また、野生では昆虫を好むため、夏場にはセミを捕まえて与えています。運動場に昆虫が飛び込んでくるとみんなで追いかけて捕まえようと頑張っています。

（外尾美絵）



動物の話題

ニューフェイス



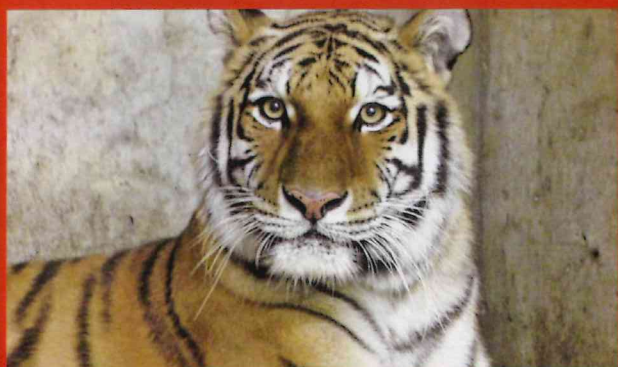
シセンレッサーパンダ「ルナ」(メス・3歳)
3月26日、江戸川区自然動物園より来園



シセンレッサーパンダ「ガイア」(オス・5歳)
4月20日、横浜市立よこはま動物園より来園



チャップマンシマウマ「凧斗(ナギト)」(オス・4歳)
4月22日、みさき公園自然動物園より来園



アムールトラ「ヤマ」(メス・9歳)
7月26日、東武動物公園より来園

別れ



シンリンオオカミ「クイーン」(メス・11歳)
4月14日死亡



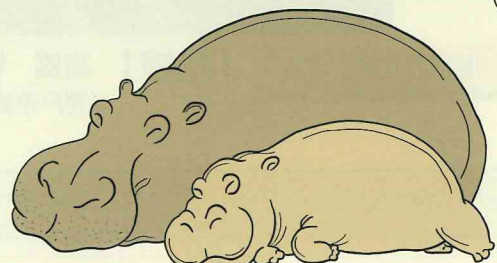
ミナミシロサイ「サブロー」(オス・39歳)
4月28日死亡

ベビー誕生



ヨザル
(8月14日生まれ)

(森本市郎)

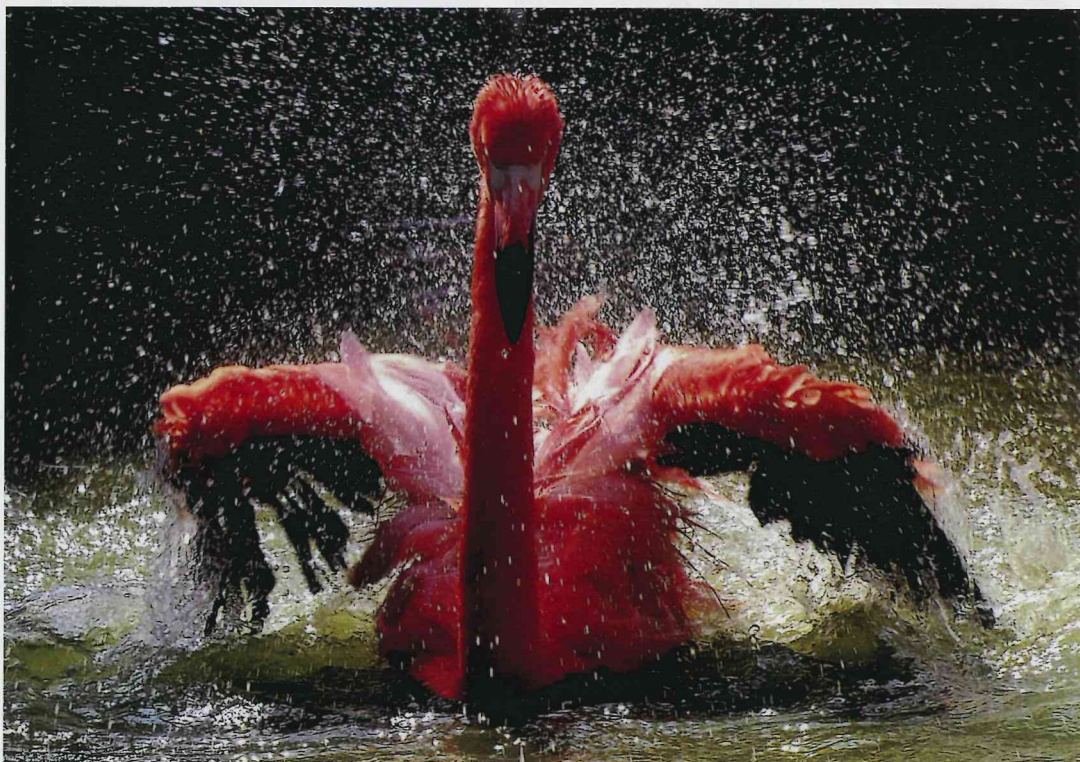


第

21

回

アマチュア動物写真



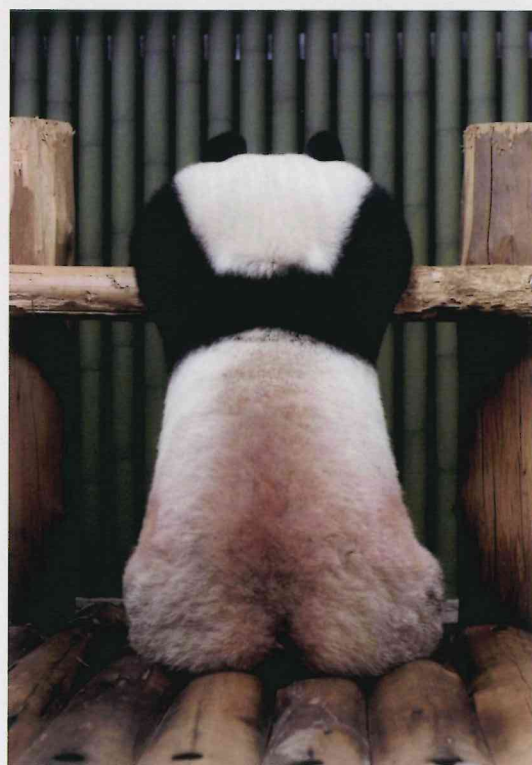
神戸市長賞

「水浴び」 横田 和子 (神戸市須磨区)



神戸新聞社賞

「花嫁」 高橋 明
(神戸市須磨区)



王子動物園長賞

「変身！」 野口 浩史
(埼玉県桶川市)

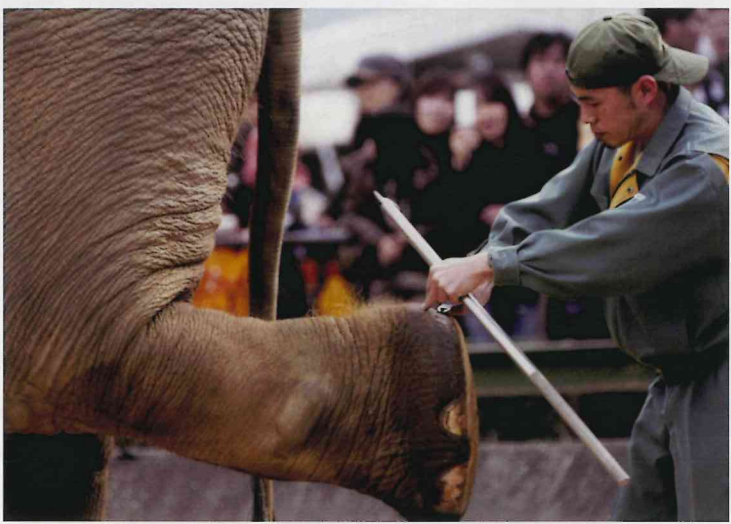
コンクール



サンテレビジョン賞

「おととと」

小池浩太郎（大阪市住之江区）



神戸市動物愛護協会長賞 「爪切り」 麻那古直子（兵庫県伊丹市）



兵庫県写真材料商協同組合賞

「子育て」

河野 信子（神戸市北区）



神戸市公園緑化協会賞

「笹が一番」

藤原 康次郎（兵庫県明石市）

特別賞作品 7 点（敬称略）

入 選・・・10 点

佳 作・・・20 点

応募総数・・・812 点

審査：動物写真家 田中光常先生



特別展「ホネ・骨・ホネ！」から

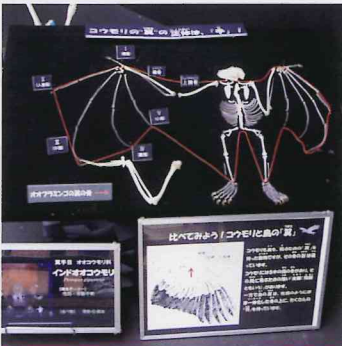
開催期間：2009.3.20～8.31

今年はなぜか骨ブーム。今回は骨にスポットをあて、「骨から見える不思議発見」をテーマに、当園収蔵の約80点の頭骨、角、全身などの骨格標本を、は虫類、鳥類、ほ乳類、そしてサルから人への流れで展示しました。進化の過程を見ていただくとともに、なぜこんな形をしているか骨から見える動物の秘密を紹介しました。



は虫類

は虫類のホネはほ乳類と同じように頭骨、背骨、四肢、尾がありますが、腰の部分まで肋骨があるため、胸と腹部が区別できません。手足はそれぞれの足は体から水平に方向に突き出しから体を支えて、腹で地面をこするように歩きます。



コウモリはほ乳類ですが、空を飛べるように進化しました。

鳥類はは虫類から進化し、飛ぶために適した体のつくりになっていきました。やがて、すみ場所を地上、浅瀬、水上、水中、樹上と工サや繁殖のため拡大し、それにともない骨格やくちばしの形などが多様化していきました。その中でヒクイドリやダチョウのように飛ぶのをやめ、脚が発達したものの、ペンギンのように水中での生活に適応したものなども出てきました。



鳥類



ほ乳類

ほ乳類も、は虫類から鳥とは違う進化をし、多様化を経て現在のよう形となりました。ほ乳類はその環境や生活の仕方によってさまざまで、手足の長いもの、短いもの、指が5本あるものそれ以下のものなどありますが、骨格は頭骨、背骨、四肢、尾の大きく4つの部位からなり、背骨が主な支柱になっています。

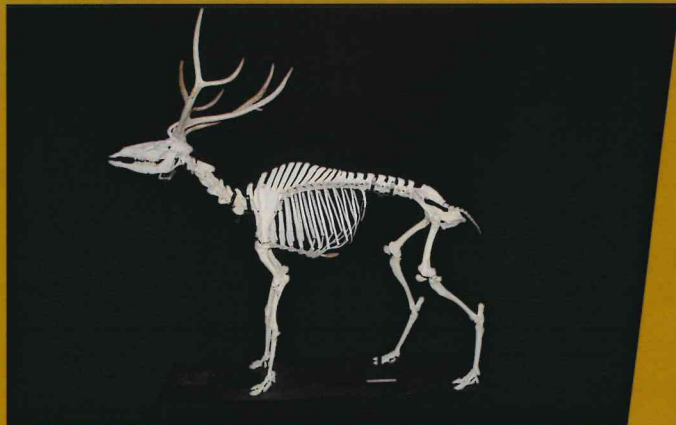
サルも類人猿も祖先は同じで、現在のキツネザルなどのように原猿類に似た小さな動物でした。今から600～500万年前に類人猿の祖先と分かれ、2本足で立ち上がり、ヒトが登場しました。ヒトは二足歩行によって、脚が長くなり、足のうらには土ふまずができ、腰骨の幅も広くなり背筋を伸ばしても内臓の重さを支えられるなど、他のサルとは違う特徴も出てきました。また頭骨では脳を納める部分が大きくなり、顎と歯がだんだん小さくなりました。

サルからヒトへ



わたしはだれでしょう？

生きているときはどんな姿だったかな？



ホネはアートだ！
骨の形はおもしろく、
意外と美しい！



登場した動物たち



シフゾウ



ヒクイドリ



キエリボウシインコ



ピューマ



ミシシッピーワニ



コアラ

(安宅範子)

サポート企業をご紹介します

動物サポーター

meiji 明治乳業株式会社

神戸市立王子動物園の運営にご支援をいただいております

神戸市立王子動物園

支援する動物 アカコンゴウインコ
明治乳業株式会社兵庫支店
神戸市中央区東川崎町1-1-3

動物サポーター

総合不動産コンサルタント

IMAS (株)イマス
〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-1-9
TEL06-6209-7100 Fax06-6209-7101

神戸市立王子動物園の運営にご支援をいただいております

神戸市立王子動物園

支援する動物 フラミンゴ・アムールトラ
株式会社イマス
大阪市中央区淡路町3丁目1-9

動物サポート企業

ネットのケータイ屋さん

もしもし本舗
moshimoshihonpo.com

神戸市立王子動物園の運営にご支援をいただいております

神戸市立王子動物園

支援する動物 ラマ
株式会社エヌエスケーケー
神戸市灘区船寺通4丁目6-10

動物サポーター個人支援者一覧

- ・福地 彬美
- ・加井 靖久
- ・小西 章功
- ・小西絵里奈
- ・田中 遼
- ・コパンダ
- ・サボコ
- ・山口 治子
- ・山口 文徳
- ・大東 真穂
- ・中田 美紗
- ・北川めぐみ
- ・道廣 聖斗
- ・中道 浩
- ・中道 君枝

(※平成21年9月30日現在。前号発行以降、新規登録され掲載希望のあった法人・個人のみ掲載)

日頃のご支援に感謝申し上げます



動物サポーター大募集



～市民に親しまれ、市民とともに活性化することを目指して～

王子動物園では、動物サポーター制度を実施しています。この制度は、動物園を支援していただける企業・団体等（法人サポーター）や個人（個人サポーター）からの寄付（年単位）を動物たちのエサ代や動物舎の整備などの運営経費に充てるというもので、動物園をより身近に感じていただき、市民に支えられながら動物園の活性化を進めていくことを目的としています。

法人サポーター

対象は法人・企業・団体で、ご寄付いただいた法人等については、園内の動物舎前等にその名称を記載したプレート（デザイン等は原則共通）を設置します。また、それぞれの法人等は、王子動物園を支援している旨を記したロゴ入り支援マークを使用することができます。

個人サポーター

ご寄付いただいた個人の方については、お名前を園内の支援者一覧に掲載するとともに、年間パスポートや機関誌、サポーターシールの進呈、サポーターズデイへのご招待（抽選）をします。

飲みたいものが、 ここにある！

カップ式自動販売機でくつろぎを演出します。

株式会社アペックス

◆お問い合わせ

神戸支店 兵庫県神戸市中央区港島南町1-4-8 〒650-0047 電話 (078)306-2130

<http://www.apex-co.co.jp>



おいしさを笑顔に

KIRIN



おいしくなって新登場!

All New! seventeen ice



おいさと健康
Glico



グリコセブンティーンアイス

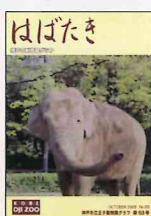


カバの親子

～バックナンバー・売店で販売中～



- 64号
◎特集1
「フタコビナマケモノ」
◎特集2
「水生のカメたちがたくさんやってきた」
◎動物園活性化への取り組み



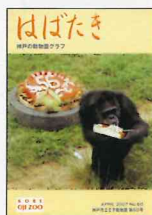
- 63号
◎特集「諏訪子」



- 62号
◎特集
「北園リニューアルオープン」「インドゾウ「オウジ」の誕生」
◎担当動物個体の紹介



- 61号
◎特集
「ルリコンゴウインコの繁殖」
◎動物たちの出産の準備
「カバ」「ジャイアントパンダ」「インドホシガメ」「インドゾウ」



- 60号
◎特集
「ジャイアントパンダの共同繁殖研究」
◎動物たちの高齢化対策
「鳥類」「ゾウ」「コアラ」「チンパンジー」「レッサーパンダ」



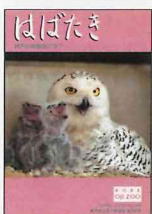
- 59号
◎特集1
「コウノトリ飼育史」
◎特集2
「動物園の調査・研究」
◎繁殖への取り組み
「ジャイアントパンダ」「インドゾウ」「ペンギン」「コアラ」「サル類」「カンガルー」



- 58号
◎特集「フラミンゴの繁殖」
◎休園日の動物園
◎王子動物園活性化ワークショップについて～魅力ある動物園をめざして～



- 57号
◎特集1
「モモちゃん永遠に」
◎特集2
「外来生物って何？」
◎ねむる
「サル編」「鳥編」「ゾウ・オオアリクイ編」「ナマケモノ編」「草食動物編」



- 56号
◎「モモ」
(インドゾウ・メス1歳)の近況
◎動物の搬入・搬出
「ゾウ編」「フラミンゴ編」「コアラ編」「キンシコウ編」「キリン編」



- 55号
◎特集1
「日本初アジアゾウの繁殖」
◎特集2
「ゴリラの展示再開」
◎動物たちの暑さ対策



- 54号
◎動物たちへのエンリッチメント「動物のあそび」
～ストレスの緩和～
「インコ編」「ゾウ編」「オオカミ編」「カピバラ編」「サイ編」
◎動物ハプニング特集
好プレー? 珍プレー? 特集



- 53号
◎動物たちへのエンリッチメント～飼育係によるエサの工夫～
「ジャイアントパンダ編」「オオアリクイ編」「リス編」「サル編」「キリン編」
◎長寿功労動物たち
チンパンジー「ジョニー」
インドゾウ「諏訪子」
コウノトリ「コウちゃん」
レッサーパンダ「遊遊」

編集後記

とっておきのニュースをお知らせできました。動物園で一番明るいニュースは赤ちゃん誕生です。しかも、王子動物園では、オランウータンでの成功は初めてです。カバは20年ぶりのことです。無事に出産するか、うまく母乳を飲めるかな、やきもきすることは赤ちゃんの成長とともに続きます。今回の特集で動物の子育てを実感していただければ幸いです。また、フンボルトペンギンの計画的な繁殖についても紹介できました。

動物園は命の大切さ、生きることの美しさに触れる憩いの場です。笑顔で楽しむことができます。

(副園長 奥乃弘一郎)

ふれあい広場「ふれあいタイム」 ▶ 毎日3回

インドゾウのトレーニング ▶ 毎日午後2時ごろ

ホッキョクグマのドボンタイム ▶ 火・木・土曜 午後1時10分ごろ

動物教室 ▶ 日曜・祝日午後1時15分～3時

ペンギンガイド ▶ 日曜・祝日午後3時30分ごろ

ホームページ ▶ <http://www.city.kobe.lg.jp/ojizoo/>
<http://www.ojizoo.jp>

テレホンサービス ▶ TEL(078)881-8102

休園日：毎週水曜日(祝日の場合は開園)、12/29・30・31・1/1